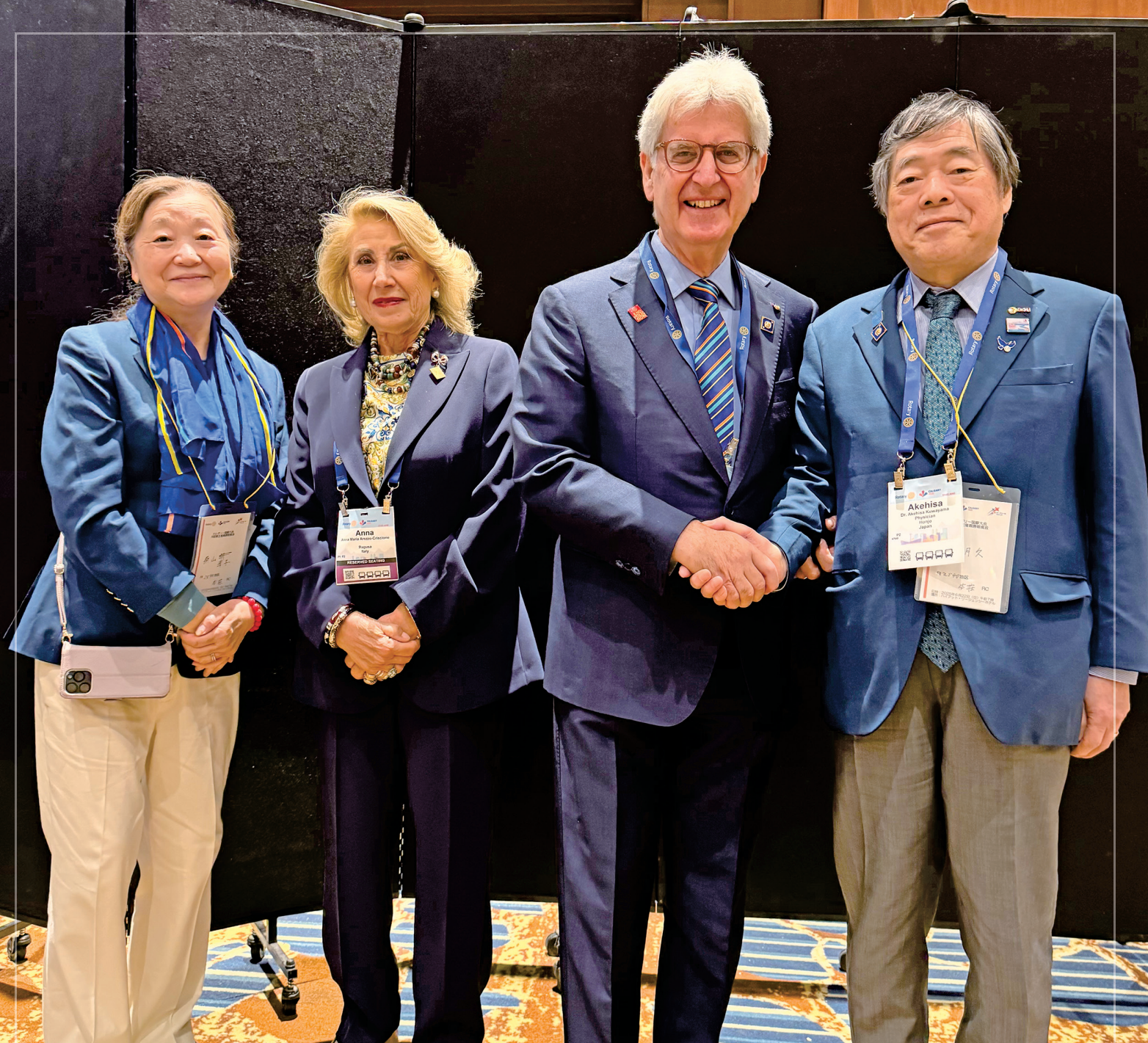




国際ロータリー第2540地区

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

7月
2025 / vol.1

ロータリー特別月間●7月

母子の健康月間

目次

- 2 ガバナー就任のご挨拶
- 3 国際ロータリー会長
- 4 地区目標と方策
- 5～7 ガバナー補佐活動計画書
- 8～15 委員会活動計画書
- 16～17 第2540地区組織図
- 18 コラム

Rotary
第2540地区



よいことのために
手を取り合おう

2025-26年度 ガバナー
桑山 明久

2025-26年度 国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ



国際ロータリー第2540地区 2025-2026年度ガバナー

桑山 明久 (本荘ロータリークラブ)

プロフィール

- 生年月日 1950 年 12 月 3 日
- 勤務先 中央線診療所
- 勤務先 URL <https://www.chuosen-sinryou.com>
- その他 公益社団法人 日本空手協会秋田県本部 会長
秋田県医療学術交流会 会長
本荘高等学校校医、健康管理医
新山小学校校医
子吉保育園、本荘幼稚園、ひかり保育園、各嘱託園医
由利本荘市嘱託産業医 (他 3 社)
由利本荘市福祉事務所嘱託医
由利本荘市教育委員会教育委員 (2012年6月30日 - 2024年6月29日)
- 寄付関係
ロータリー財団 ポールハリスフェローマルチプル 2025年1月 現在 (PHF+8)
米山奨学基金寄付 米山功労者3回目 2024~2025年度
メジャードナー認証 2025年2月 現在 (Level.1)

ガバナー就任のご挨拶

国際ロータリー第2540地区ロータリアンの皆さま、2025-2026年度地区ガバナーに就任した本荘ロータリークラブの桑山明久です。よろしくお願いいたします。

始めに自己紹介をします。昭和25年(1950年)北海道空知郡砂川市(現砂川市)に生まれました。中学3年生の夏休みに、ネパールで医療活動を行っていた岩村昇先生の講演を聴き、医師になろうと心に決めました。ところが北海道では医学部の門は固く、あきらめていたところに秋田大学に医学部が新設されると知りました。医師への想いを断ち切るため受験したところ思いがけず合格してしまったのです。秋田には感謝するしかありません。由利組合総合病院に勤務しているとき、小松寛治先生から新しく病院を開設したいが副院長として力を貸してほしいと頼まれました。大学医局との間で曲折はありましたが、本荘第一病院に加わることになりました。9年目のある日、院長室に来るように言われ、入ってみると本荘ロータリークラブ会長菊地長助氏と幹事の佐藤章氏がいらっしゃっており、小松委員長から、自分はほとんど欠席ばかりでロータリークラブを退会するから、君がその後の会員になるようにとのお話でした。ハイわかりましたと返事をし、内心一抹の不安を感じたものの、とても嬉しかったことを覚えております。こうしてロータリーの一員に加えていただきました。

昨年の地区大会で、ガバナーエレクトの自己紹介をさせていただいたとき、これまでの人生で感謝したいことがたくさんあるが、中でも3つの大きな感謝は秋田県と本荘ロータリークラブ、そしてロータリーに広く目を開いてくれた RLI ですと述べました。

ロータリーについて知ること、学ぶべきことはまだまだ沢山あります。ともにロータリーを学びましょう。そしてよりロータリーを楽しみましょう。よいことのために手を取り合いましょう。

これからの一年間、6名のガバナー補佐共々よろしくお願い申し上げます。



2025-2026年度 国際ロータリー会長

フランチェスコ・アレツツォ (イタリア、ラグーザ・ロータリークラブ所属)

プロフィール

アレツツォ氏は、矯正歯科医として個人の診療所を構えています。イタリア、ヨーロッパ、アメリカの矯正歯科協会のメンバーとして国際的に活動しています。ラグーザ県の National Association of Italian Dentists の副会長であり、National Trust for Italy の創設者であり、同団体で7年間ラグーザ県を代表しました。また、マルタ主権騎士団内の名誉と献身の騎士です。

30年以上のロータリー会員であるアレツツォ氏は、合同戦略計画委員会副委員長、RI 理事、ラーニングファシリテーター、地区大会での会長代理を歴任したほか、ロータリー財団のベネファクターでもあります。アナ・マリア・クリシオーネ夫人は、観光業界の起業家で、お二人には2人のお子さんがいます。

フランチェスコ・アレツツォ氏が 2025-26年度国際ロータリー会長として選ばれる

フランチェスコ・アレツツォ氏（イタリア、ラグーザ・ロータリークラブ所属）が、2025-26年度国際ロータリー会長として理事会により選出されました。アレツツォ氏は7月1日に会長に就任します。

理事会は、6月8日のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ RI 会長エレクトの予期せぬ辞任を受け、特別会合を開きました。RI 章典と方針に基づき、理事会は、2023年8月に行われた国際ロータリー会長指名委員会によって検討された候補者の中から、新たな会長エレクトを選出しました。

2月の2025年国際協議会で発表された2025-26年度会長メッセージである「よいことのために手を取りあおう」はそのまま継承されます。このメッセージは、政治、地理、イデオロギーでますます分断されている世界において、結束する力となるようロータリー会員に呼びかけるものです。奉仕プロジェクトを通じ、ロータリーは、さまざまな背景を持つ人びと（人種、宗教、職業を超えて）をつなぎ、地域社会でよいことを行うという共通の使命のために活動します。

2025年6月14日

(出典: <https://www.rotary.org/ja/francesco-arezzo-of-italy-selected-to-be-2025-26-rotary-international-president>)

2025-26年度地区目標と方策

1 会員増強

- ・各クラブが行動計画を策定し、3年間の目標数を設定し、マイロータリーに登録する。
- ・オープン例会などで会員候補者にロータリーを知ってもらい、受入れ体制を整える。
- ・個々の会員が4つのテストを胸に刻み、職業奉仕を行うことでロータリーのイメージを高める。
- ・退会防止に特別会員制度、特化型クラブを役立てる。

2 DEI の推進

- ・D（多様性）、E（公平さ）、I（包摂）について常に意識し行動する。DEIの対極がハラスメントである。I（包摂）は排除せず、排他的ではなく、寛容で受容的であること。

3 ポリオ根絶への協力

- ・あと一歩に迫ったポリオ根絶への戦いを共に戦いましょう。
- ・一人30ドルのポリオ寄付を達成しましょう。
- ・ポリオデーに協賛し、10月19日（土）秋田市内でキャンペーンパレードをします。県警音楽隊がパレードを先導する予定です。多くのロータリアンとその家族の参加をお願いいたします。

4 青少年奉仕活動の推進

- ・昨年に続き、RYLAの開催を予定します。
- ・インターアクト年次大会を開催し、地区内インターアクトクラブ間の交流を促進し、活動の活性化を支援します。

5 RLI 参加者を増やします

- ・LIは楽しくロータリーを学べる充実の場であることを、多くのロータリアンに知ってもらいます。
- ・RLI卒業者は、ロータリーの基盤を強め、クラブ活動の有力な戦略として期待できます。
- ・各クラブでRLI開催予定日を会員に周知し、参加を推奨してください。

6 ロータリー平和センターを支援しましょう

- ・平和の構築と紛争予防のための、世界で活躍する平和フェローを養成する、平和センターが日本では国際基督教大学（ICU）内に大学院（修士課程）として設置されています。
- ・現在、一人30円の支援金がガバナー会を経て納付されています。
- ・平和センターの活動を支援するため、各ロータリアン、各クラブでの自発的な寄付をお願いします。

7 2232地区(ウクライナ国)と日本国内地区とで締結されるICC(国際共同委員会)に参加します

- ・ICCはRI公認の活動団体であり、ICC事務局を通してグローバル補助金の申請がしやすい利点があり、医療機械の進呈が予定されています。

2025-2026年度ガバナー補佐 活動計画書

北区 大館・鹿角分区



ガバナー補佐
大館北RC
藤盛 公之
入会 2021年3月
会長 2024～2025年

【活動目標】

- ・北区各クラブ（7RC）の強み（良さ）を活かした魅力ある例会にする。
各クラブにて独自行事の企画を促し、会員や他クラブ会員との親交を深め、マンネリ化を防ぎ、会退会防止と会員増強を図る。

【活動指針】

- ・3ヶ月に一度は、担当各クラブを訪問し、強み（良さ）を把握するため交流を推進する。
- ・桑山ガバナーとの連携強化により、ガバナーが掲げるテーマを担当各クラブ会員に丁寧且つ的確に伝える努力をする。
- ・北地区各クラブが、月に1度を目処に、他クラブ会員や会員ではない地域の著名人（市長・会頭・企業経営者等）を卓話者として招聘し、クラブのブランド力向上をめざす。

北区 能代・男鹿分区



ガバナー補佐
能代白神RC
金子 信
入会 2023年1月

- 1 3-year rolling goals をよく理解する。
- 2 MyRotary でラーニングを活用する。
- 3 RI の方針・地区の方針を理解する。
- 4 各クラブと友好的な関係を築き、状況を把握する。

上記を中心に必要な知識を習得し、ガバナーと各クラブの橋渡し役として活動していきます。また、ロータリーを楽しみながら、各クラブの「ロータリーを学ぼう」を手助けしていきたいと思います。

2025-2026年度ガバナー補佐 活動計画書

中区 秋田分区



ガバナー補佐
秋田中央RC
木元 慎一

入会 1991年7月
(チャーター)
会長 2006-2007年
2018-2019年

1. 秋田分区の各クラブの実態を把握するために、秋田市内7RCの新旧会長幹事会の開催（2025年6月2日午後6:00～）前に、秋田市内7RCの事務局宛に、
 - ① 4月1日現在の会員数、
 - ② 4月1日現在のロータリー財団への寄付金額、
 - ③ 各クラブで実施している奉仕活動とその奉仕活動の継続を阻害する要素、
 についてアンケート調査を実施します。
2. 上記のアンケート調査の結果を踏まえて、2025年6月2日開催の新旧会長幹事会において、各クラブで悩んでいる問題点があれば、その問題点をガバナーに共有していただき、ガバナー公式訪問の際にクラブの会長、幹事と問題点解決の手掛かりを見出すようにします。
3. ガバナー公式訪問後の再訪問
ガバナーの再訪問が必要かどうかを見極めるための材料を見出すために、ガバナー公式訪問後に、再度、クラブを訪問します。

中区 本荘・由利分区



ガバナー補佐
本荘南RC
本間 諭

入会 1992年
(チャーター)
会長 99-20/06-07/
14-15/21-22/
23-24年
ガバナー補佐
2020-2021年

桑山ガバナーのご指導の下、分区内の各クラブの実情を把握して、最も活動に適したクラブ運営ができるよう、助言と活動方針の啓蒙を実施します。

RIの方針と地区方針を理解し、各クラブが地区方針に沿ったクラブ活動の運営ができるよう、全力で応援します。

特に、分区内クラブは小人数会員のクラブが多く、会員増加が喫緊の課題であり、会員増強を如何にして行くかを、共同で考え推進していきます。

各クラブの問題や、要望を吸い上げ、ガバナーに報告すると共に、問題解決に向けて全力で取り組みます。

中区IMの準備と実施を計画的に行います。加えて地区大会に向けた取り組みを全力で行います。

楽しいクラブ活動、意義あるクラブ活動に向けたロータリーを追求します。

2025-2026年度ガバナー補佐 活動計画書

南区 横手・湯沢分区



ガバナー補佐
湯沢南RC

柴田 為英

入会 2013年10月
会長 2018-2019年
2021-2022年

1. 現ガバナー補佐を訪問して意見交換致します。(4月8日予定)
 2. その後、横手湯沢地区のロータリークラブを訪問する事にします。
 3. 7月からのガバナー訪問の日程調整に努めます。
 4. 会員拡大の要請、桑山ガバナーの所信の報告並びに説明を致します。
 5. 地区主要行事への積極的参加を要請してまいります。
- 以上重点に活動し、各クラブの課題、要請を速やかにガバナーにお伝え致します。

南区 大曲・仙北分区



ガバナー補佐
角館RC

田口 宗弘

入会 2021年1月
会長 2023-2024年

【活動方針】

- ・ガバナーの方針及び地区目標を理解した上、各クラブに伝え、各クラブの運営が円滑に進むようサポートする。

【活動計画】

- ・ガバナー公式訪問前に事前訪問し、各クラブ会長・幹事と主に以下の点について確認する
 - ＊ クラブの目標
 - ＊ クラブの現状と問題点（特に、会員増強、寄附金、奉仕活動について）
 - ＊ 地区に対する要望

以上をガバナーに報告し、ガバナーが交流しやすくなるようサポートする。

- ・担当クラブのガバナー公式訪問の際に同行する。
- ・大曲・仙北分区のクラブ会長・幹事会に出席して意見交換する。
- ・南区 IM の実施、及び様々な地区行事への参加を促す。
- ・ガバナーの呼びかけが「ロータリーを学ぼう」であることから、RLIへの参加も強く促していきたい。

地区成長戦略計画委員会 活動計画書

地区成長戦略計画委員会 委員長 秋田北RC 嶋田 康子

当地区においては、RI の定めた最低人数1,100名を切りそうな状態が続いております。地区として、日本でも一番の人口減少が見込まれる秋田県において今後会員増強はかなり難しい事と思われます。

しかしながら他地区との合併ありきではなく、秋田県として残っていくためにはどのようにすればいいかなどしっかり議論しなくてはなりません。

又、昨年度から RI は地区行動推進リーダー (ACTION PLAN CHAMPION) を決め、各クラブにも一人ずつのリーダーを決めるように求めており、この最大の目的は 3-Year Rollig Goals・要するに 3 年間の目標を各クラブに設定するように推奨していくことであり、地区としてもしっかり 3 年の成長戦略をたてなくてはなりません。

これは、ガバナー・ノミニー・エレクトが考える方針に沿ってこの委員会でその手助けができるようにしていくことと思っています。又、今年度の計画を来年度以降に軌道修正しながらよりよい方向づけをするための議論を行っていかなくてはならないことと思います。

具体的には、当委員においてしっかりガバナー方針を確認し、又エレクト・ノミニーとすり合わせしながら、未来に向かっての成長戦略が描けるように討論提案を行う。そのためには、少なくともガバナー年度早々には会議を開き大まかな方針を決め、10月に予定されている地区大会において発表できるようにしたいと思います。

又、ロータリー財団委員会や国際奉仕委員会・青少年奉仕交換プログラム委員会・米山記念奨学委員会・会員拡大増強委員会など各委員長を招き意見を聞きながらお互いの勉強会を行う機会を作りたいと思っています。

DEI委員会 活動計画書

DEI委員会 委員長 大館南RC 工藤 智教

(1) DEI とは

DEI は、会員の期待に応えるクラブ作りや会員増強計画に役立ちます。共存共生社会を意識したクラブ運営を行うことで、奉仕活動に高い効果が期待されます。My Rotary の奉仕部門の項に、DEI は「会員同士の関係を育み、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うこと」と記載があります。

ロータリアンが、奉仕の理念を実践する心構えとして、ロータリー章典 26. 130 項の『多様性・公平さ・インクルージョンへのロータリーのコミットメント』に、「ロータリーで活動する私たちは、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ (包括的) な文化を培うことが不可欠である」と推奨しております。

なお DEI の語彙は下記によります。

D: diversity (多様性) 性別や年齢、国籍、人種、文化、価値観など異なる特性を持つ人々が互いを認め合い、共存していくこと。

E: equity (公平性) 偏りや差別がなく、すべてが等しいこと

I: inclusion (包摂性) 多様な人々を平等に受け入れ、一体化すること

(2) 委員会構成

今年度は、男子 2 名、女子 2 名の同数としました。DEI の多様性と公平性を意識しました。

(3) 具体的な活動方針

- ① DEI の思想を、地区内すべてのロータリアンに持ってもらうための情報提供
- ② 多様性、公平性、包摂性を議論し理解し、応用する。
- ③ クラブ運営、特にクラブ活性化を図る。
- ④ 会員増強、女性をはじめとして多様な会員を受け入れる。
- ⑤ 多様性のあるクラブ、衛星クラブや特化型クラブの創設を目指す。
- ⑥ DEI 思想を根底に置くクラブは、公共イメージの向上に効果が期待できる。
- ⑦ DEI の範囲を広げて、社会的な面から、男女の不平等感、ジェンダー平等感、等々も話題にする場合もあります。

以上

会員拡大増強委員会 活動計画書

会員拡大増強委員会 委員長 矢島RC 佐藤 成孝

周知のとおり、当2540地区では1,100人以上の会員数が義務づけられています。コロナ禍以降の経済活動の停滞、地域で加速する人口減少は会員増強課題をも直撃しています。

1905年、ポール・ハリスが知人の青年実業家3人を誘いシカゴクラブを結成した3年後の冬の厳寒の日、売れない新聞をかかえて震えている少年を一人の会員が例会場に連れてきました。会員たちは新聞を全部買いあげ、またある会員はマフラーを与え、激励して帰したと伝えられます。

今や世界は紛争激化と分断が進み、国内は貧富差が拡大するなか、ロータリアンは互いに好意と友情の手をたずさえ何ができるでしょうか。

草創期の原点に立ち返り、地域社会での親睦活動を地道にくり広げながら一人でも多くの仲間と同志をつくっていきましょう。

公共イメージ委員会 活動計画書

公共イメージ委員会 委員長 秋田RC 岡本 啓一

2025-2026年度地区公共イメージ委員会の活動計画目標は、ロータリー、地区内各クラブ、さらには一人一人のロータリアンに対するイメージを今より向上させることです。その機会として、国際ロータリーのポリオ根絶の活動をポリオデーイベント開催と関連行事の広報活動によって多くの方々に知って頂きたいと考えております。公共イメージ委員会を主体に、ポリオデーイベント開催を担ってまいり所存です。

地域内ロータリアン向けの活動といたしまして、ガバナー月信、ロータリーの友、その他各クラブの活動を紹介するLINEによる情報発信を継続してまいります。

各クラブにおかれましては予算との関係もあると存じますが、活動紹介の背景に映り込むロータリーロゴの規定周知、MY ROTARY への登録奨励活動を実施したいと考えております。

【目標】

1. ロータリーの良いイメージを広げること
2. ロータリーの外の人々への認知度を向上すること
3. 地区内各クラブからの情報発信を活性化すること。

【施策】

1. ポリオデーイベントの開催
2. 地区の活動紹介
3. 各クラブ活動紹介

4. ローターアクトクラブ、インターアクトクラブの活動紹介
5. 地区他委員会と緊密に連携し外部が興味を持つ内容を広報していく

以上

RLI委員会 活動計画書

RLI委員会 委員長 秋田RC 桑原 透

当地区の RLI ラーニング・セミナーは2022-2023年度のスタートから3年を経過し、延べ120名を超える地区内ロータリアンが受講しました。これまでに33のクラブ例会へ訪問し、全会員の受講とクラブの会員研修事業として RLI を活用してもらいたい旨の説明を行なっています。

当委員会も様々なノウハウを蓄積してきました。委員以外でファシリテーターを務めてくれる皆さんも安定感ある進行役を果たしてくれています。

RLI でロータリーの知見が広がり、他クラブ会員と交流でき、所属するクラブが「強く楽しいクラブづくり」実現への更なる歩みが進められると考えます。

4年目となる今年度も PART I、II、III を各1回開催して受講者を募ります。

各 PART 開催前にファシリテーター研修も行ない、スムーズな進行に努めます。

ローターアクト委員会 活動計画書

ローターアクト委員会 委員長 秋田RC 佐野 元彦

1. 「秋田ローターアクトクラブ」の活動支援
 - ・会員増強への協力
 - ・ロータリー研修の場の提供
 - ・ロータリアンとの交流機会の提供
 - ・令和高校インターアクトクラブとの交流機会の提供
 - ・他地区ローターアクトとの交流機会の提供
 - ・R Y L A 運営への協力要請
2. 新クラブ設立の促進
 - ・スポンサークラブの発掘
 - ・クラブ設立への支援活動

ロータリーの友委員会 活動計画書

ロータリーの友委員会 委員長 本荘RC 齋藤浩太郎

1. 広く機会を求め、地区内会員へ「ロータリーの友」誌およびその他の出版物の広報ならび活用促進活動に努めます。また、地区内の活動情報収集にも努めていきます。
2. 「ロータリーの友」への理解を深めていただくために、各クラブの広報委員長等に例会内でご紹介いただけるよう推奨します。同時に毎月の月間活動テーマに沿って、関係のクラブ委員長が

例会時にスピーチいただけるよう推奨します。

3. 「ガバナー月信」などを通じて、「ロータリーの友」に関する情報を地区内に発信するよう努めます。
4. 「ロータリーの友」に掲載されている全国の活動事例をクラブに取り入れ、活動の幅を広げながら会員拡大の推進等に繋げていただけるようお願いしていきます。
5. ロータリーの友委員会 OB を含め「友友会」を開催し、活動がより豊かになるような意見交換の場をつくっていきます。

青少年交換プログラム委員会 活動計画書

青少年交換プログラム委員会 委員長 秋田東RC 金子 雄司

現在、1名の長期派遣予定学生が秋田北ロータリークラブをホストクラブとしてオリエンテーションを行っております。3月には東北多地区スプリングキャンプに参加し他の地区の派遣生9名と切磋琢磨してきました。派遣先としてはアメリカ5650地区との協議が進んでおり、8月頃出発予定となっております。同じく8月には来日学生（IBS）1名が来てくれる予定です。

IBS は秋田聖霊学園高等学校に入学予定で2026年1月に蔵王ウインターキャンプ、3月に岩手開催予定の東北多地区スプリングキャンプ、6月に青少年交換研究会福岡大会に参加します。

引き続き危機管理委員会、ホストクラブと連携し安全なプログラムの実施を心がけます。

また、2026年の派遣生について速やかに募集を行い（5月募集開始予定）、10月までには派遣生を決定し、オリエンテーション、スプリングキャンプ等への参加を通じて親善大使としての心構えと語学の強化を行っていきます。

ロータリアンのご子息が参加できるプログラムですので、高校生のお子様（特に1年生）をお持ちのロータリアンの皆様、是非参加のご検討をお願いします。短期派遣について、今年度は実施しません。

青少年交換プログラムは派遣生の募集から帰国まで丸2年を要し、その後も ROTEX、ローターアクトとして人材を育てていく息の長いプログラムです。ロータリアンの皆様のご協力なくしては継続して実施することが難しい事業ですので、どうかご支援のほどよろしくお願いします。

国際奉仕委員会 活動計画書

国際奉仕委員会 委員長 秋田中央RC 阿部 大助

【委員会の目的】

国際間の理解、親善、平和を推進すること

【委員会の目標】

1. クラブの国際奉仕活動を支援する。
2. 新しい国際奉仕活動について検討する。

【活動内容】

1. 地区行事等において、各クラブの参考となる国際奉仕活動を紹介する。
 - ① 他地区の事例などを研究し、パンフレット等にまとめる。

2. 2520地区が計画しているウクライナ 2232 地区との ICC 締結について検討する。
- ① 2520地区の担当者より事業内容について聴取する。
 - ② 委員会内及び地区役員と ICC 締結について、その可否を検討する。

職業奉仕委員会 活動計画書

職業奉仕委員会 委員長 象潟RC 今野 眞保

ロータリーの目的として「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を推奨し、これを育む」とあり、その具体的項目第二に、「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする」と掲げています。これはまさに「職業奉仕」がロータリアン活動の基盤にあることを示しています。

その職業奉仕を実践するロータリアン一人一人が、25-26RI マリオ会長テーマとして掲げた「よいことのために手を取り合おう」の実践へ繋げ、さらにその輪が地域へと広がる事を自覚し、今期の当委員会活動を進めます。

また、25-26 桑山明久ガバナーが掲げる「ロータリーを学ぼう」の会長方針に基づき「職業スキルを活かした奉仕活動を計画実施するよう奨励し、職業奉仕活動を促進する。」委員会方針を実現するため以下の活動をしてまいります。

- ① 各クラブの職業奉仕実践例を紹介
会員皆がロータリーを実感できるよう、ロータリアン一人一人が実践する職業奉仕から、地域と手を取り合って広がる地域奉仕活動となる実践例を募集し紹介します。
- ② 国際ロータリーの特徴的な活動であるポリオデーへの協力

RI国際大会推進委員会 活動計画書

RI国際大会推進委員会 委員長 大曲RC 高橋 右

2026年は6月13日～17日に台湾の台北で国際大会が開催されます。

過去に国際大会へ参加した方をリストアップし、国際大会への参加をお声掛けし15人以上の皆様に参加していただけるよう取りまとめます。

現地では、ガバナーナイトを企画し、2540地区参加者の親睦が深まるよう準備します。

社会奉仕委員会 活動計画書

社会奉仕委員会 委員長 本荘RC 伊藤佐喜男

【委員会方針】

社会奉仕活動…地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献すること

- 各クラブが、地域社会に対して奉仕活動を企画するよう推奨する。
- 各クラブでどのような社会奉仕活動をしているかアンケートを提出して頂く。
- その結果に基づき委員会を開催し、各クラブへの支援を行う。(※奉仕活動への参加協力など)

- 国際奉仕委員会、ロータリー財団委員会と協力してロータリーデー、ポリオ根絶キャンペーンを実施する。

青少年奉仕委員会 活動計画書

青少年奉仕委員会 委員長 秋田RC 佐野 元彦

1. 青少年奉仕関連委員会の連携を深める
 - ・当委員会が中心となって、青少年奉仕部門各委員会並びにローターアクト委員会、米山記念奨学委員会の連携を深め、各委員会の円滑な活動をサポートするよう努める
2. 青少年奉仕の意義を地区内に浸透させる
 - ・ロータリーが提唱する「指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年によって好ましい変化がもたらされる」という青少年奉仕の意義を地区内に伝え、青少年奉仕が未来志向の重要な奉仕活動であることへの理解を深めていく

ロータリー財団委員会 活動計画書

ロータリー財団委員会 委員長 秋田東RC 平澤 孝夫

1. ロータリー財団の重要性を地区会員にご理解いただくよう努めます。
2. 各小委員会に各々の役割を理解していただくため委員会全体で勉強会を開き、一体感を持って地区財団資金運営を行います。
3. 例年年度末に大変苦勞するゼロクラブについて、本年度はガバナーとご相談し、年度当初2ヶ月以内に各クラブ、クラブ名か、会長名でまず150ドルを寄付していただくことを徹底していただくようお願いしてまいります。
4. 会員お一人150ドルの寄付とメジャードナー、ポーリハリスソサエティのお願いをしてまいります。

インターアクト委員会 活動計画書

インターアクト委員会 委員長 横手RC 黒丸 雄平

各インターアクトクラブが各地域において学校や地域社会のための活動と国際理解を目指す活動を行えるよう提唱クラブと共にその活動を支援する。

インターアクト年次大会を開催し、インターアクトがロータリーの一員であることの理解を深めるとともに地区内インターアクターとの交流を行う。また、福島県で行われる予定の全国大会への参加し、地区外との交流の可能性を実感する機会とする。

インターアクターがR Iのロータリー章典に規定された青少年保護の指針に沿って安全に活動で

きるよう、インターアクトクラブ役員、インターアクトクラブ委員長、顧問ロータリアン、顧問教諭と共に指導者講習会を開催する。

国際理解を深めるための取組みについて、各クラブ・提唱クラブと話し合い現状の理解と今後の方針を確認する。

本荘地区でのインターアクトクラブ新設に向けた具体的な取り組みをおこなう。

- ・2025年7月 提唱クラブ訪問
- ・2025年9月6日（予定） 年次大会・指導者講習会開催
- ・2025年11月 地区大会参加（各表彰の推薦について）
- ・2025年12月 委員会（各表彰の確定、表彰準備）
- ・2026年3月 本年度・次年度合同委員会Ⅰ（学校予定関連確認・引継ぎ）
- ・2026年5月 地区内インターアクトクラブ代表者会議・指導者講習会
本年度・次年度合同委員会Ⅱ（最終引継ぎ）
- ・2026年4～5月予定 第13回インターアクト全国大会参加（福島）

ロータリー米山記念奨学委員会 活動計画書

ロータリー米山記念奨学委員会 委員長 秋田西RC 清水 俊明

【委員会の目的】

ロータリー米山記念奨学事業を通し、国際交流と相互理解を深める。

【委員会の目標】

- ①普通寄付ゼロクラブをなくすとともに、特別寄付の増進を図る。普通寄付、特別寄付合わせて一人当たり14,000円以上の寄付を推進する。
- ②米山記念奨学事業に対するロータリアンの理解者を増やす。
- ③奨学生との交流を深め、学友の動向を把握する。

【活動内容】

1. 奨学生の“ロータリー”に対する理解を深める
 - ①秋田をより深く知っていただき、学生にとって「第2のふるさと」になるよう努める。
 - ②奨学生とロータリアンとの交流をよりいっそう深める。
 - ③世話クラブ以外における奨学生の卓話を促進し、学生が様々なクラブに接することで多くのロータリアンと交流を持つ機会を拡げる。
 - ④参加義務のある地区行事だけでなく、その他の行事への積極的な参加を促す。
2. 奨学生との交流を深め学友の動向を把握する
 - ①奨学期間が終了しても交流が続くよう、世話クラブ・カウンセラーの役割をより一層意識していただき、奨学生に対し精神面でもサポートしていただく。
 - ②地区内在住学友の所在等を把握し、交流を図るとともに、地区外学友に現地学友会への参加を推奨する。
 - ③奨学期間終了後も、学友会への参加を促進する。
 - ④ホームカミング制度等を活用し、地区外に居住している学友と交流を図る。

【スケジュール】

2025年12月13日（土） 米山記念奨学生面接
2026年3月7日（土） 米山記念奨学生終了式歓送会
2026年4月25日（土） 奨学生・カウンセラーオリエンテーション

RYLA委員会 活動計画書

RYLA委員会 委員長 秋田RC 佐野 元彦

1. R Y L Aの開催

- ・ インターアクト年次大会に併せて、半日のR Y L Aを開催する
- ・ 来年度以降の継続開催に向けて、運営方法・開催プログラムのノウハウ蓄積を図る

地区大会委員会 活動計画書

地区大会委員会 委員長 本荘RC 大越 英雄

2025年10月25日(土)・26日(日)、由利本荘市文化交流館カダーレ、本荘グランドホテルの2会場を開催場所としての地区大会は安全安全を第一に考慮し、会員同士のネットワークを広げ、ロータリーのさまざまな話題について話し合い、また地区における奉仕プログラム、プロジェクト、広報の成功を紹介することによって会員の奉仕意欲を高め、クラブレベルを超えたロータリーのビジョンを共有し、思い出に残る親睦を経験してもらえるような地区大会を企画し、実施致します。

※大会ではアコーディオン奏者の桑山哲也様による記念演奏を予定しております。

2025-2026年度 国際ロータリー第2540地区組織図

《RI.会長》 フランチェスコ・アレツツォ

ガバナーノミニー	ガバナーエレクト	副ガバナー	ガバナー
	土舘 守 (大館)	村上 勘一 (象潟)	桑山 明久 (本荘)

規定審議会
代表委員 平澤 孝夫 (秋田東)
補欠委員 嶋田 康子 (秋田北)

諮問委員会
京野 学 (湯沢南)
松浦 新 (秋田中央)
伊藤 壽々雄 (湯沢)
村上 勘一 (象潟)
地葉 新司 (湯上)
塩谷 國太郎 (大曲)
玉木 修 (秋田西)
宮下 正弘 (秋田)
平澤 孝夫 (秋田東)
柳谷 悦磨 (能代)
富樫 龍紀 (大曲中央)
嶋田 康子 (秋田北)
工藤 智教 (大館南)
宮原 保夫 (湯沢南)
高崎 恒夫 (秋田港)
淡路 徹 (湯上)
佐藤 和志 (田沢湖)

財ロータリー米山記念奨学会 第2540地区
専門委員 (任期 2024年9月～2027年8月) 平澤 孝夫 (秋田東)
財ロータリー米山記念奨学会 第2540地区
理事 (任期 2024年9月～2026年8月) 玉木 修 (秋田西)
評議員 (任期 2023年9月～2027年8月) 柳谷 悦磨 (能代)
社会法人 RIJYEM 第2540地区
社員 (任期 2024年8月～2026年8月) 宮下 正弘 (秋田)

RLI委員会
◎ 桑原 透 (秋田)
○ 加賀 美奈 (大曲)
阿部 大助 (秋田中央)
細谷 太郎 (秋田中央)
安達 豪樹 (秋田南)
山本 隆弘 (秋田港)
北嶋 洋一 (秋田南)
小田嶋 伸一 (花輪)
宮原 育郎 (湯沢南)
和賀 豪 (横手東)
黒丸 雄平 (横手)
坂本 寿克 (大館南)
藤井 健 (横手)
須田 幸喜 (本荘)
武石賢太郎 (湯沢南)

ガバナー指名委員会 (PG)
◎ 佐藤 和志 (田沢湖)
淡路 徹 (湯上)
高崎 恒夫 (秋田港)
宮原 保夫 (湯沢南)
工藤 智教 (大館南)

ロータリーの友委員会
◎ 齋藤浩太郎 (本荘)
岩佐 信宏 (横手)
松尾 秀正 (大館北)

研修委員会
◎ 佐藤 和志 (田沢湖)
淡路 徹 (湯上)
高崎 恒夫 (秋田港)
工藤 智教 (大館南)
嶋田 康子 (秋田北)

会員拡大増強委員会
◎ 佐藤 成孝 (矢島)
○ 阿部 和夫 (湯沢)
三浦 明美 (男鹿)
碓屋 茂樹 (本荘)
若林 勲 (横手南)
保坂 雄大 (秋田港)
石川 浩範 (大曲南)
DEI委員会
◎ 工藤 智教 (大館南)
○ 塩谷 國太郎 (大曲)
橘 百合子 (大曲南)
渋谷 絵里 (秋田西)

公共イメージ委員会
◎ 岡本 啓一 (秋田)
○ 佐藤 力 (大曲)
鈴木 隆宏 (能代)
村上 亜紀 (秋田東)
田中 慶昭 (大曲)
村越 正道 (能代)
本間 正樹 (本荘)

職業奉仕委員会
◎ 今野 真保 (象潟)
○ 斎藤 全平 (大館南)
三浦 大英 (角館)
小玉 久則 (秋田港)
社会奉仕委員会
◎ 伊藤佐喜男 (本荘)
○ 佐藤 祥一 (稲川)
笹渕 信子 (男鹿)
工藤 隆太 (秋田西)
佐々木貞一 (本荘東)
佐々木英人 (田沢湖)

国際奉仕委員会
◎ 阿部 大助 (秋田中央)
○ 熊谷 中 (象潟)
根田 達也 (秋田南)
加茂谷 博文 (秋田東)
納谷 崇 (秋田北)
太田 一弘 (横手南)
信田 智彦 (湯上)

◎委員長 ○副委員長
(敬称略順不同)

地区内ロータリークラブ		
		ロータリーアクト委員会
地区内		◎委員長・佐野 元彦
衛星クラブ		秋田RAC 会員全員
ロータリーアクトクラブ		
ガバナー補佐		
藤盛 公之（大館北）	金子 信（能代白神）	本間 諭（本荘南）
木元 慎一（秋田中央）	柴田 為英（湯沢南）	田口 宗弘（角 館）
地区成長戦略計画委員会		
◎嶋田 康子（秋田北）		
平澤 孝夫（秋田東）		
村上 勘一（象 潟）		
工藤 智教（大館南）		
塩谷 國太郎（大 曲）		
大内 睦子（秋 田）		
渡部 栄太（横 手）		
桑山 明久（本 荘）		
佐藤 和志（田沢湖）		
土館 守（大 館）		
富樫 龍紀（大曲中央）		
淡路 徹（潟 上）		
地区行動計画推進委員会		
◎嶋田 康子（秋田北）		
土館 守（大 館）		
各クラブ推進委員		
財務委員会		
佐藤 良一（本 荘）	○ 福原 良英（大 館）	鈴木 正男（本荘東）
会計委員会		
斎藤 雅豊（本 荘）	○ 中川 義明（大 館）	木内多津子（本荘南）
会計監査委員会		
北区・綿貫 一子（能 代）		中区・小林 科樹（秋田中央）
南区・飼田 一之（横 手）		
危機管理委員会		
◎ 地葉 新司（潟 上）	○ 緑川 正樹（大 館）	塚本 祐文（本 荘）
堀井 潤（秋田西）	金子 雄司（秋田東）	宮下 正弘（秋 田）
近 茂寛（能 代）	加賀 美奈（大 曲）	RI報告担当者
RI国際大会推進委員会		
◎ 高橋 右（大 曲）	○ 木内 義範（本荘東）	齊藤 豊隆（潟 上）
中田 赳（秋 田）		
地区大会委員会		
◎ 大越 英雄（本 荘）	伊藤 有希（本 荘）	藤原 和信（矢 島）
熊谷 中（象 潟）	大城 慶明（本 荘）	本間 正樹（本 荘）
佐々木 貞一（本荘東）		
ロータリー米山記念奨学委員会		
◎ 清水 俊明（秋田西）		
○ 境田 未希（秋田東）		
若林 幸夫（横 手）		
土崎 俊成（秋田港）		
伊藤 里花（秋 田）		
杉山 肇（本 荘）		
ロータリー財団委員会		
◎ 平澤 孝夫（秋田東）		
○ 渡部羊三（秋田東）		
補助金委員会		
◎ 渡部 羊三（秋田東）		
橋本 里花（秋田西）		
松田 圭司（湯 沢）		
資金推進委員会		
◎ 萱森 賢雄（横手南）		
○ 佐々木 力（秋田中央）		
ロータリー平和		
フェロシップ委員会		
◎ 堀 茂（本 荘）		
○ 中村 博美（大館南）		
ポリオプラス委員会		
◎ 渡部 栄太（横 手）		
資金管理委員会		
◎ 佐藤 行広（本 荘）		
○ 一関 譲（潟 上）		
地区恒久基金/大口寄付委員会		
◎ 佐々木 直俊（本荘東）		
ポールハリス・ソサエティー		
コーディネーター		
平澤 孝夫（秋田東）		



ロータリーの思い出

地区はクラブの為に

1999～2000年度ガバナー 京野 学

私がガバナーを拝命したのは世紀末、二つの世紀をまたぐ年でいささか騒然とした時でした。そして地区では勿論ながら、初の戦後生まれで、全国ガバナー会でも最年少でしたから、先輩ロータリアンの方々には随分ご心配をかけた事と、今、思い返しています。

時のR I 会長はイタリア人のカルロ・ラビッツアさん、ロータリー改革派として夙に知られた方で、古い慣行を打ち破り時代の変化に応えた「新しいロータリー」の創造を訴えました。ともすれば安易な前例踏襲の奉仕活動や寄付活動に陥り、マンネリ化しがちなクラブライフを見直し、道徳的精神に支えられた職業奉仕の実践をロータリー活動の原点に据えて、新しい奉仕プログラムを創ろう、という呼びかけは、いかにも新世紀を迎えるに相応しいものでした。

この方針に大いに共鳴して、びっしり20分間の原稿を作り、クラブ公式訪問で講話をしましたが、今になってみると学校の講義のようで、食後の時間を悩ませたようで申し訳なく思います。

私の年度からそれまでの「分区代理」を「ガバナー補佐」制度に改め、南、北、中、それぞれ2名計6名の方に、R I テーマの浸透とクラブ活動のお手伝いをして戴くようになりました。お引き受け戴いた会員諸兄には大変ご難儀をおかけしました。

この当時は地区協議会二日、地区大会三日というスケジュールで、ご参加の会員にとっても大変でしたが、その分、会員相互の親密度は深まりました。ちなみに大会の記念講演に、今なおご健在の五木寛之さんをお招きしましたが、多数の市民が見えられ好評でした。

公式訪問や地区内行事へは殆ど自分で車を運転して参りましたが、まだ自動車道未開通の時代、走行距離は八千キロを超え車中で聞いたCDは50枚、宇多田ヒカルを全曲聞いた、とメモにありました。

当時の地区会員数1776人43クラブの友情の輪に包まれた一年間でした。「地区はクラブの為に、クラブは奉仕のために」このスローガンは、今もしっかり心に刻んでいます。

●6月末の会員数は、他地区に倣い、来月号（8月号）に掲載予定です。